

# せらび

第一一五号

— 発行 —

社会福祉法人  
せらび後援会  
0144-75-2328

## 第118回理事会が開催される 2020年度の事業報告及び決算報告、役員選任提案など

第118回の社会福祉法人せらび理事会が5月20日に開催されました。

理事会では、2020年度の事業報告と決算報告、社会福祉充実残額の算定結果、来月で任期満了となる役員案の提案などについて審議が行われました。各議案は6月の定時評議員会にて議決手続きが行われる予定です。

2020年度はコロナ禍のなかで、事業活動も決算内容も厳しい内容になりましたが、法人及び事業所関係者が一丸となって取り組みながら

乗り越えた一年でもありません。今年度も、引き続き諸活動の制限を受けながらの事業になりそうですが、あたりまえの日常が取り戻せるよう、一日も早い感染終息に期待したいものです。

**力作揃いのイラスト販売しています！**  
就労支援センターおむねと

新年度がスタートしました。新型コロナウイルスの影響により外出等の自粛が続いていますが、引き続き感染対策を万全に、気

## ジョージ・マギーさんを 偲んで

当法人の設立準備と設立後の12年に渡って法人の活動にご尽力いただいたジョージ・マギーさんが、昨年10月30日、米国ミシガン州の自宅で逝去されました。83歳でした。

1965年5月に来日してから2005年3月に帰国するまでの40年間を宣教師として活動する傍ら、苦小牧市内ではシーメンズクラブや精神科病院での院内リハビリ活動（英会話教室）、地域で生活する精神障がい者の方々への生活のサポートや公的な地域福祉活動に積極的に関与され、当法人で

は設立準備委員会の代表を務め、法人設立後は8年間に渡って理事長の職に就かれ、苦小牧地域の精神障がい者の福祉事業の推進に多大なご尽力をいただきました。

法人の運営や経営が困難になったときも、いつも変わらず、包み込むような笑顔でスタッフや利用者を励ましていただきました。「せらび」という法人名は、苦小牧地域で生活する精神に障がいを持つた方々の社会参加や地域生活支援を共に推進するという意味の英語の頭文字をとったもので、ジョージ・マギーさんの発案で決まったものです。

2005年3月に帰国されてからも、何度か法人の事業所を訪ねて頂き、励ましの言葉をいただきました。穏やかで優しい笑顔を見ること

持ちも新たに頑張りたいと思います。

Omnetではメンバーが作成したイラストの販売を始めました。サンプルをホームページに掲載していますので是非ご覧ください。また、お客様の要望に合わせて様々なイラストを作成することもできますのでお気軽にお問い合わせください。



【メンバー作 販売用イラスト一例】

## ひきこもり相談支援 千歳地域生活支援センター

当センターでは近年、ひきこもり関連の相談が増えています。

とが出来ないのはとても寂しい限りですが、法人の活動をどこかでそっと見守っていただいているような気がしてなりません。



【故 ジョージ・マギー氏】

THERAPY  
社会福祉法人 せらび

T omakomai	<苦小牧>
H elp	<援助>
E motionally handicapped	<精神障がい者>
R ecovery	<回復>
A id	<支援>
P rogram	<活動>

ます。内容は様々ですが、「ひきこもっている本人が外に出る練習をしたいけどどうすればいいか分からない」という相談が多い印象です。相談を受けた際は、その人の目標に合わせた当センターの使い方や、スポーツやパソコン、茶話会などのカルチャークラブへの参加を提案しています。また、実際にセンターを見学したり、職員と顔を合わせることで利用のイメージを具体的に持つてもらえることから、その後の利用に繋がることも増えています。



## ご支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。

(2021年1月29日～2021年5月31日)

### ▽ 後援会会費

笠原浩司様

### ▽ 法人寄付

星槎道都大学様、王子総合病院附属看護専門学校様、井脇富雄様

2021年度の会費納入にご協力、お願い致します。  
年会費は左記の通りです。

- ・ 個人会費 一口 五千円
- ・ 団体会費 一口 二万円
- ・ 賛助会費 一口 三千円